



シバザクラの花満開に

4月中旬、みやぎ千本桜の森で昨年芝桜ひろげたい運動で植えたシバザクラが見ごろを迎えました。隣接する赤城南面千本桜も満開に。大勢の家族連れでにぎわいました。



サクラ満開の大胡ぐりーんふらわー牧場で4月13日、さくらまつりが開催されました。小雨が降り肌寒い一日でしたが家族連れなどで大にぎわい。大胡風神太鼓の演奏や苗木の無料配布にはたくさんの方が集まり、訪れた春を楽しんでいました。

秋篠宮ご夫妻が本市を訪問

秋篠宮ご夫妻は、4月11日、全国都市緑化祭視察のため、本市などを訪問されました。全国都市緑化ぐんまフェア前橋会場では、シダレザクラ2本を記念植樹され、園内を散策。その後、幼稚園児による桑の和紙を使ったうちわ作りを見学されました。



女子実業団チームが熱戦

前橋市長杯全国社会人選抜9人制バレーボール女子フレッシュリーグが4月12日・13日、県総合スポーツセンターで開催。全国トップレベルの16チームが参加し、白熱した試合が繰り広げられました。



風車の牧場でわんぱくまつり

母と音楽に感謝したい



県童謡作曲コンテストで知事賞
中山 真理子さん・28歳
樋越町

県童謡作曲作家協会と県童謡文化協会が募集した「第12回県童謡作曲コンテスト」で知事賞に選ばれた。「知事賞に選ばれたことは、朝の新聞で知ったんです。このような賞をもらえると思っていなかったの、びっくりしました。これは、母が作った『なかよし』という童謡詞を選んで曲を付けたもの。少しは親孝行ができたかもしれないね」

メルヘンチックで楽しい童謡詞「なかよし」に、最初のイメージを大切に、ピアノでテンポの良い曲を付けた。一気に仕上げた楽譜は一旦、自分の机の引き出しに入れておき、1週間くらい経ってから、もう一度見直し、気になるところを作り直したという。

「童謡を歌ったり聴いたりするこ

とでみんなの心が癒されればうれいですね。童謡詞に曲を付けたときは、歌いやすさが一番大切だと思っているんです」

聴く人へ言葉が伝わり、心に届くメロディー作りを心掛けています。ピアノは小1から習い始めた。今は、ピアノ教室で幼稚園児から大人まで幅広く教えている。

「レッスンは終わったら、みんな笑顔で帰ってもえるよう指導していきたいです。そんな魔法のようなことができればいいですね」

ボランティアで福祉施設を慰問し、ピアノを弾いたり、童謡を合唱したりして充実した時を過ごしている。将来の目標について話を聞けると一日一日を大切にしていきたいと優しい笑顔で答えた。

若い芽のポエム

昨年度行われた第11回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

★佳作 一日のはじめと終わり

荒牧小5年

宮崎 恵さん

いつも夜に
こう思う
今日の自分に
ありがとうって

そう思うと
毎日
同じ人で
ちがう人になっているのかもしれない

★佳作 ここちゃん

芳賀小1年

佐藤 凜さん

朝、起きた時は
こう思う
今日の自分に
よろしくねって
こうして
いつも
一日が
すぎている
でも
そう思うと
まったく
同じ日を
すごしたこと
なんてなかった

ここちゃんは、とってもちいさい。おとななのに、とってもちいさい。おとななのに、あそびがだいすき。ここちゃんは、かいそうの、においがする。でも、そのにおいが、だいすき。どらいやーをかけると、おこる。そうじきにもおこる。ねこにも、わたしにもおこる。そんな、いぬのここちゃんがいるから
ひとりでおるすばんもできるよ。わん、わん。